

資料 1

発達障がい者支援センター 事業実施状況について (令和7年度・令和8年度6月末)

資料 1-1

令和7年度発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-2

令和8年4月～6月発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-3

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート
体制の強化（令和7年4月～令和8年3月）

資料 1-4

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート
体制の強化（令和8年4月～令和8年6月）

<相談件数（実支援人数）>

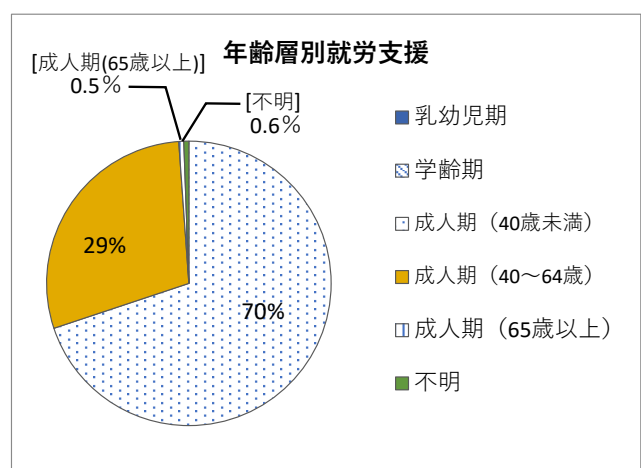
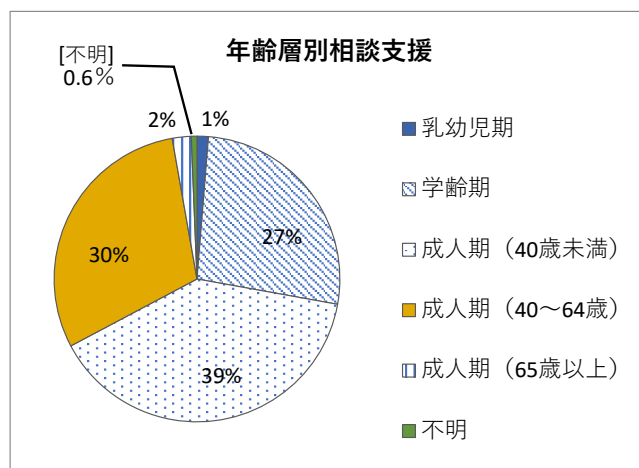
1-1 年齢別

	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	15	0	15	10	0	10	6	0	6
学齢期	125	6	131	132	4	136	124	0	124
成人期（40歳未満）	228	118	346	234	128	362	184	123	307
成人期（40～64歳）	153	58	211	140	55	195	140	51	191
成人期（65歳以上）				14	0	14	10	1	11
不明	0	0	0	1	0	1	3	1	4
合計	521	182	703	531	187	718	467	176	643

【参考】

うち 新規件数	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	15	0	15	9	0	9	6	0	6
学齢期	104	6	110	107	3	110	106	0	106
成人期（40歳未満）	148	71	219	149	69	218	107	74	181
成人期（40～64歳）	103	35	138	85	26	111	81	33	114
成人期（65歳以上）				10	0	10	5	0	5
不明	0	0	0	0	0	0	3	1	4
合計	370	112	482	360	98	458	308	108	416

※令和6年度からは国報告の集計方法の見直しを基に、成人期について、従来の2区分（40歳未満、40歳以上）から3区分（40歳未満、40歳以上64歳以下、65歳以上）へ変更。



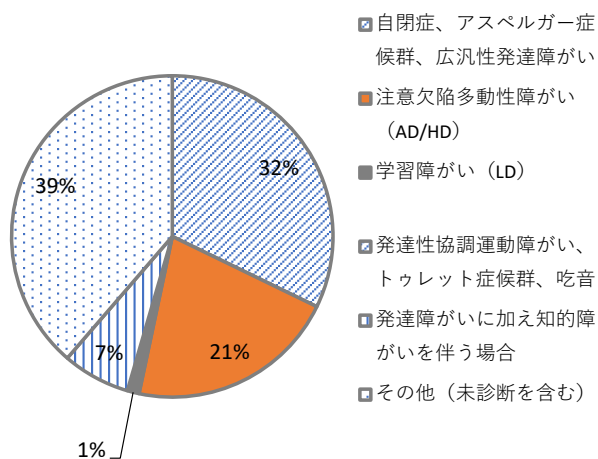
1-2 診断別

	相談・発達	就労	小計
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい	189	90	279
注意欠陥多動性障がい（AD/HD）	124	49	173
学習障がい（LD）	7	1	8
発達性協調運動障がい、トゥレット症候群、吃音	0	0	0
発達障がいに加え知的障がいを伴う場合	40	12	52
その他（未診断を含む）	227	71	298
合計	587	223	810

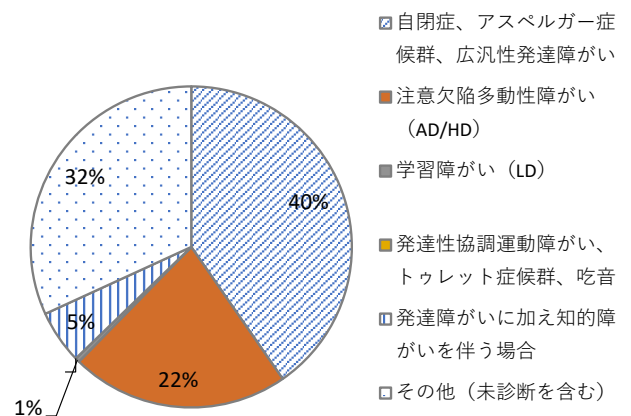
令和6年度からの集計項目の変更点

・「主な診断名」から「医師の診断に基づき、該当する各診断名」へ変更したため、実人数から延べ人数の数値となっている。そのため、「1-1 年齢別」と「1-2 診断別」の合計は一致しない。

診断名別 相談支援



診断名別 就労支援



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

相談・発達	就労	計
7	18	25

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

相談・発達	就労	計
6	5	11

4 相談内容（重複選択可）（※令和7年度分は、多い順に並べ変えています。）

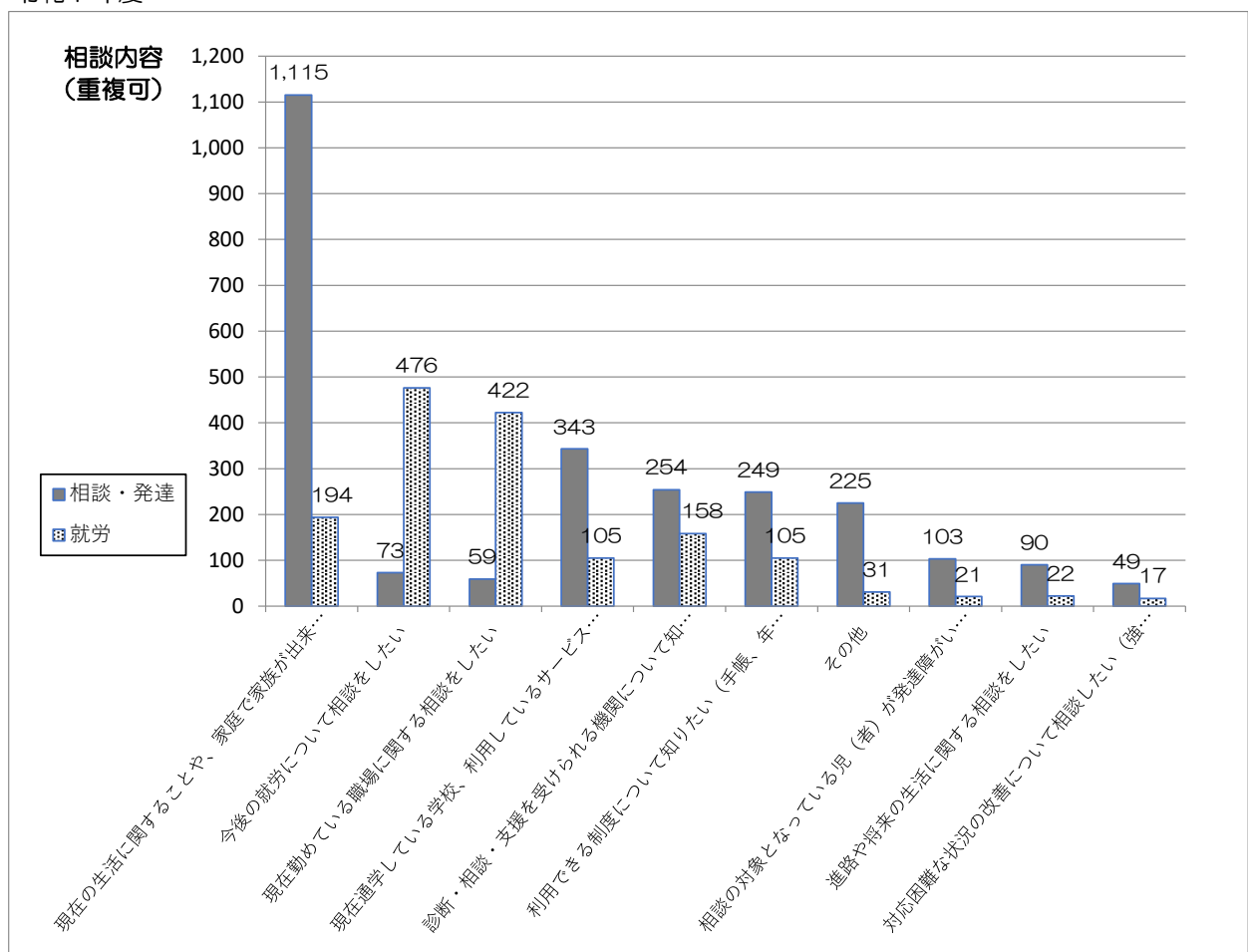
令和7年度

	相談・発達		就労		小計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	1,115	43.6%	194	12.4%	1,309	31.9%
今後の就労について相談をしたい	73	2.9%	476	30.7%	549	13.4%
現在勤めている職場に関する相談をしたい	59	2.3%	422	27.2%	481	11.7%
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	343	13.4%	105	6.8%	448	10.9%
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	254	9.9%	158	10.2%	412	10.0%
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど）	249	9.7%	105	6.8%	354	8.6%
その他	225	8.8%	31	2.0%	256	6.2%
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	103	4.0%	21	1.4%	124	3.0%
進路や将来の生活に関する相談をしたい	90	3.5%	22	1.4%	112	2.7%
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）	49	1.9%	17	1.1%	66	1.6%
合計	2,560		1,551		4,111	

【参考】

	令和5年度			令和6年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	968	107	1,075	1,088	176	1,264
今後の就労について相談をしたい	48	394	442	85	473	558
現在勤めている職場に関する相談をしたい	48	283	331	71	297	368
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	257	59	316	303	120	423
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	218	106	324	294	203	497
利用できる制度について知りたい	271	94	365	321	91	412
その他	179	7	186	180	10	190
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	224	13	237	223	13	236
進路や将来の生活に関する相談をしたい	45	22	67	54	10	64
対応困難な状況の改善について相談したい	35	12	47	68	6	74
合計	2,293	1,097	3,390	2,687	1,399	4,086

令和7年度



5 機関支援

112回実施（令和7年4月～令和8年3月）

実訪問か所 49か所

6 研修・啓発

参加総数 3,595名

実施回数

主催研修会	PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座	27
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等	123
共催講座	成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て応援講座	12
講師派遣	出前研修、啓発研修等	24
計		186

7 発達ノート発行数

令和7年4月～令和8年3月（184冊）	累計	3,675冊
---------------------	----	--------

(H22,1～)

論評

・実支援人数は643名で、成人期79.2%、学齢期19.3%（小学生48名、中学生32名、高校生等44名）、乳幼児期1.0%となっている。年代としては、20代が一番多く146名、次に30代が138名となっている。

・新規相談は416件（64.7%）で、前年度からの継続相談は227件（35.3%）を占めている。新規相談の内訳としては、乳幼児期は6件（家族6件）、学齢期は106件で、家族からの相談は99件（93.4%）となっている。成人期の新規相談は300件で、本人からの相談は147件（49.0%）、家族からは122件（40.7%）、関係機関からは23件（7.7%、企業8件、基幹相談支援センター2件、計画相談1件、ケアマネ1件、HP1件、自立訓練1件、移行1件、B型1件、障害者支援施設1件、引きこもり支援1件、訓練校1件、就ボツ1件、職業センター1件、矯正センター2件）、その他8件（知人等）となっている。

・「こころとからだのWS」は、令和6年度と同様、大阪市職業リハビリテーションセンターJC科の訓練生とコラボで実施。昭和大学附属烏山病院で開発された発達障がい専門プログラムより、「上手に頼む／断る」といった職場で必要なコミュニケーションを視覚化して学び合う方法も取り入れ実施している。

・「発達障がいのある学生等の就労準備支援事業」は、サテライト・オフィス平野（就労移行支援事業所）に協力を得て開催。大学生の相談が少ないため、既卒の方を含めて、特例子会社の「株式会社ウィルハーツ」と「SMBCグリーンサービス株式会社」の見学・作業体験会を実施した。

<相談件数（実支援人数）>

1-1 年齢別

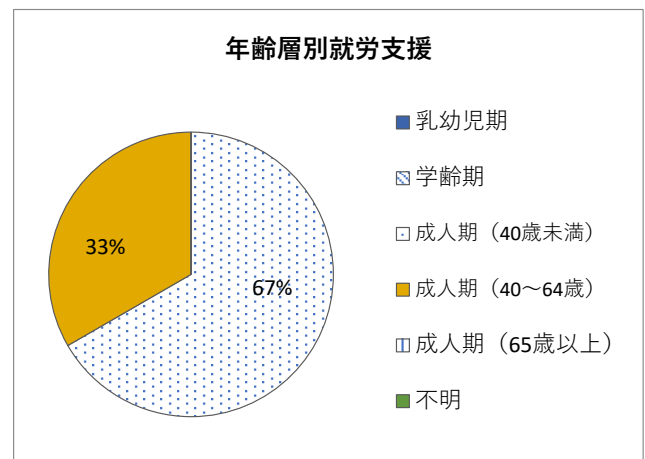
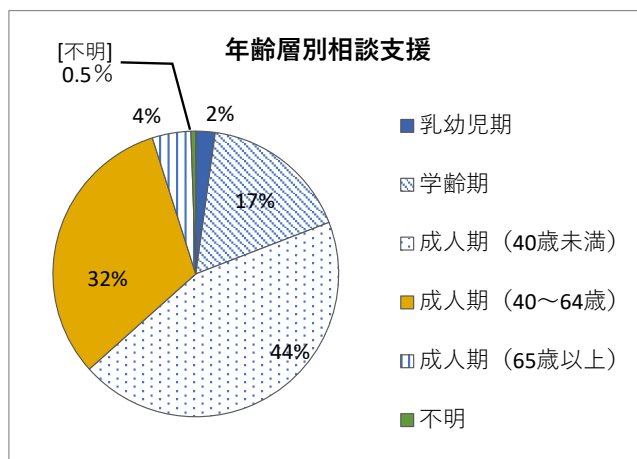
	令和6年度			令和7年度			令和8年度（4～6月）		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	10	0	10	6	0	6	4	0	4
学齢期	132	4	136	124	0	124	31	0	31
成人期（40歳未満）	234	128	362	184	123	307	81	40	121
成人期（40～64歳）	140	55	195	140	51	191	58	20	78
成人期（65歳以上）	14	0	14	10	1	11	8	0	8
不明	1	0	1	3	1	4	1	0	1
合計	531	187	718	467	176	643	183	60	243

【参考】

うち
新規件数

	令和6年度			令和7年度			令和8年度（4～6月）		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	9	0	9	6	0	6	4	0	4
学齢期	107	3	110	106	0	106	21	0	21
成人期（40歳未満）	149	69	218	107	74	181	40	14	54
成人期（40～64歳）	85	26	111	81	33	114	19	5	24
成人期（65歳以上）	10	0	10	5	0	5	3	0	3
不明	0	0	0	3	1	4	0	0	0
合計	360	98	458	308	108	416	87	19	106

※令和6年度からは国報告の集計方法の見直しを基に、成人期について、従来の2区分（40歳未満、40歳以上）から3区分（40歳未満、40歳以上64歳以下、65歳以上）へ変更。



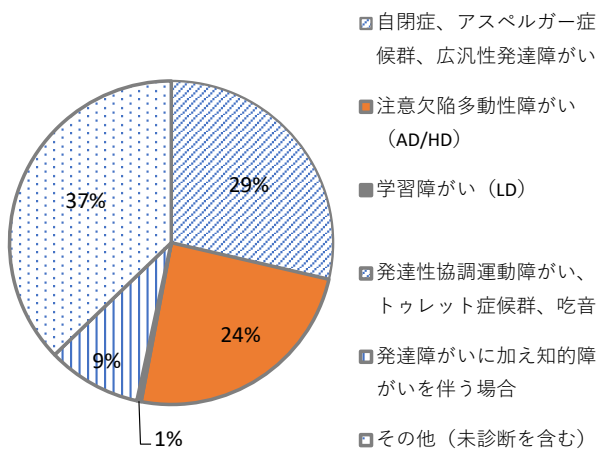
1-2 診断別

	相談・発達	就労	小計
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい	67	40	107
注意欠陥多動性障がい（AD/HD）	57	18	75
学習障がい（LD）	1	0	1
発達性協調運動障がい、トゥレット症候群、吃音	0	0	0
発達障がいに加え知的障がいを伴う場合	22	5	27
その他（未診断を含む）	87	21	108
合計	234	84	318

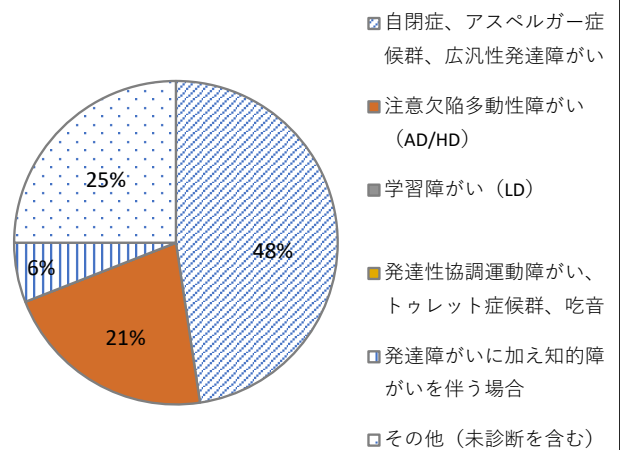
令和6年度からの集計項目の変更点

・「主な診断名」から「医師の診断に基づき、該当する各診断名」へ変更したため、実人数から延べ人数の数値となっている。そのため、「1-1 年齢別」と「1-2 診断別」の合計は一致しない。

診断名別相談支援



診断名別就労支援



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

相談・発達	就労	計
3	4	7

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

相談・発達	就労	計
0	1	1

令和8年度（4～6月）

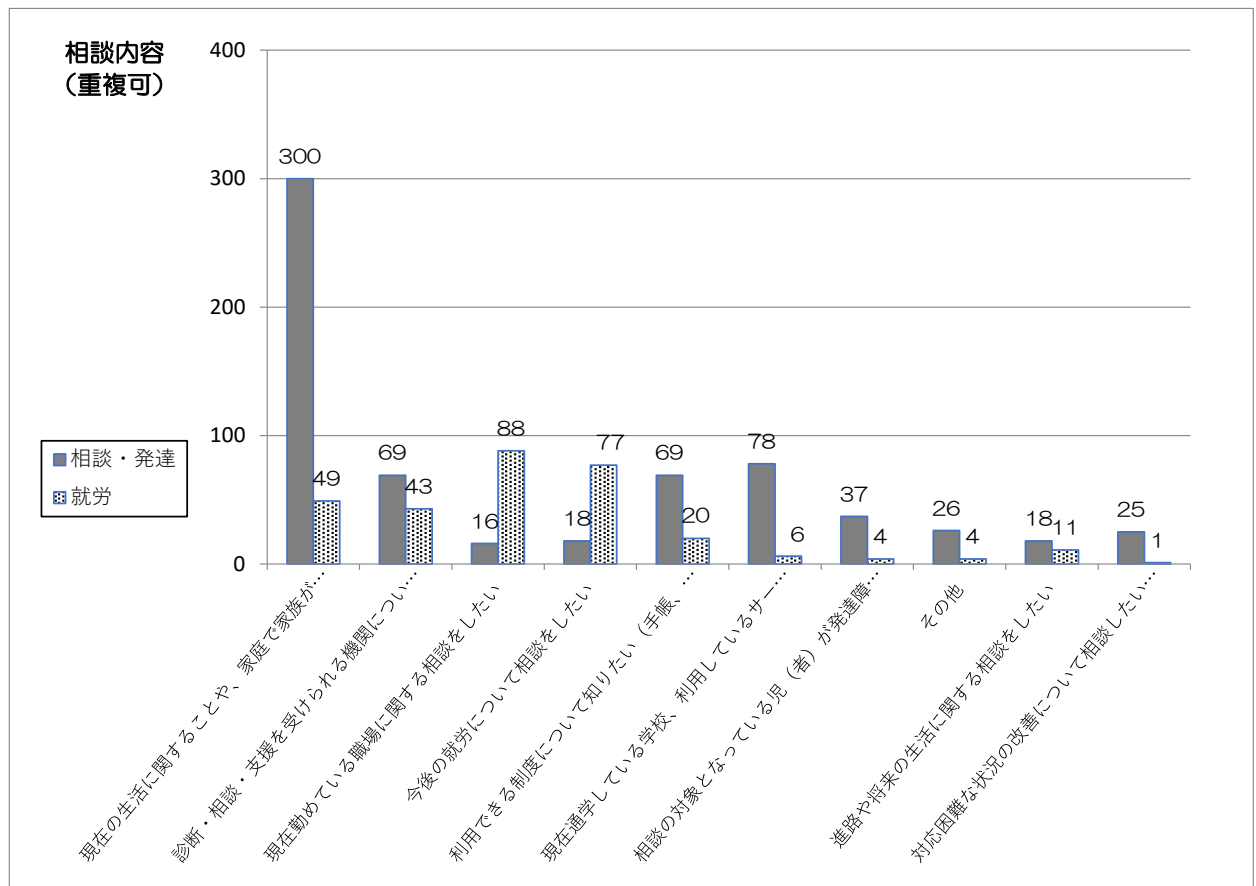
4 相談内容（重複選択可）（※R8年度分は多い順に並べ変えています。）

	相談・発達		就労		小計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	300	45.8%	49	16.3%	349	36.4%
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	69	10.6%	43	14.2%	112	11.7%
現在勤めている職場に関する相談をしたい	16	2.4%	88	29.0%	104	10.8%
今後の就労について相談をしたい	18	2.7%	77	25.4%	95	9.9%
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど）	69	10.5%	20	6.6%	89	9.3%
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	78	11.9%	6	2.0%	84	8.8%
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	37	5.6%	4	1.3%	41	4.3%
その他	26	4.0%	4	1.3%	30	3.1%
進路や将来の生活に関する相談をしたい	18	2.7%	11	3.6%	29	3.0%
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）	25	3.8%	1	0.3%	26	2.7%
合計	656		303		959	

【参考】

	令和6年度			令和7年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	1088	176	1,264	1115	194	1,309
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	294	203	497	254	158	412
現在勤めている職場に関する相談をしたい	71	297	368	59	422	481
今後の就労について相談をしたい	85	473	558	73	476	549
利用できる制度について知りたい	321	91	412	249	105	354
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	303	120	423	343	105	448
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	223	13	236	103	21	124
その他	180	10	190	225	31	256
進路や将来の生活に関する相談をしたい	54	10	64	90	22	112
対応困難な状況の改善について相談したい	68	6	74	49	17	66
合計	2,687	1,399	4,086	2,560	1,551	4,111

令和8年度



5 機関支援

22回実施（令和8年4月～6月）

実訪問か所 22か所

6 研修・啓発

参加総数 658名

実施回数

主催研修会	PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座	4
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等	20
共催講座	成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て応援講座	2
講師派遣	出前研修、啓発研修等	6
計		32

7 発達ノート発行数

令和8年4月～6月（3冊）	累計	3,678冊
---------------	----	--------

(H22.1～)

論評

・実支援人数は243名で、成人期85.2%、学齢期12.8%（小学生12名、中学生9名、高校生等10名）、乳幼児期1.6%となっている。年代としては、20代が一番多く58名、次に30代が50名となっている。

・新規相談は106名（43.6%）で、前年度からの継続相談は137名（56.4%）を占めている。

・新規相談の内訳としては、乳幼児期は4名（家族からは4件）、学齢期は小学生10名（家族からは9件）、中学生5名（家族からは2件）、高校生等6名（家族からは5件）の相談となっている。

・成人期の新規相談は81件で、本人からの相談は45件（55.6%）、家族からは32件（39.5%）、関係機関からは3件（基幹相談支援センター1件、移行1件、就ボツ1件）、その他1件（パートナー）となっている。

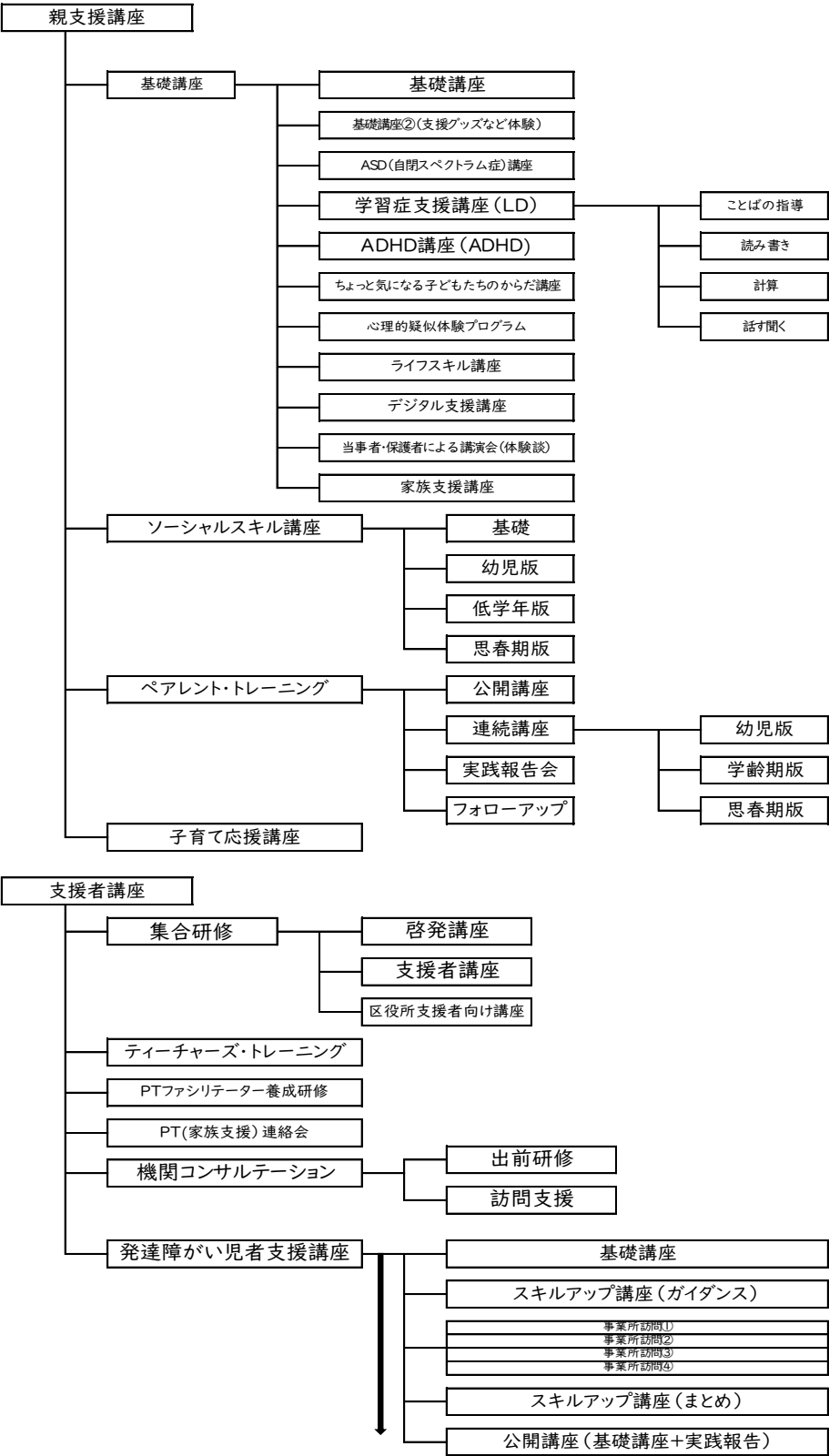
・相談内容の内訳としては、「現在の生活に関すること」が一番多く、続いて、「診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい」や、「現在努めている職場に関する相談をしたい」の相談が多い。

・「こころとからだのWS」と「発達障がいのある学生等の就労準備支援事業」は、現在準備中である。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和7年4月～令和8年3月）

事業概要

2025年度 エルムおおさか サポートコーチ事業体系図



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】基礎講座

(1) 基礎講座

発達障がい児・者の特性や、基礎的な知識と支援について講演を実施

対象：保護者・支援者

講師：小田桐 早苗先生（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科社会連携センター講師）

定員：各回100名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	6/11	WEB	12	173	185
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	11/20	WEB	18	80	98
計			30	253	283

★アンケート結果（回収率72%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	163
わかりやすかった	41
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	205

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	161
参考になった	44
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	205

【感想・意見】

・頭の中ではわかっている、子どもと実際関わっていると、日々理解して声掛けできてないという事も気づかされた。

・「その子の世界を大切にする」という最後の言葉は、どんな子にも大切だと思いました。

・具体的なアプローチ方法や考え方を改めて認識する事ができた。

(2) 基礎公開講座②（支援グッズなど体験）

発達障がいの特性に合わせた基本的な対応方法を考えたり、支援グッズなどを見たり触ったりする事で、お子さんとの関わりを一緒に考える。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回30名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	7/1	大阪私学会館	6	7	13
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	2/4	たかつガーデン	14	13	27
計			20	20	40

★アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	35
わかりやすかった	4
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	39

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	34
参考になった	4
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	39

【感想・意見】

- ・グッズがたくさんあって、何がいいのか？手に取って見る機会があり、実際に使ってみたいと思うものがあり、参考になった。
- ・子どもが2人、発達障がいなのですが、グッズ等では本当に苦労したり失敗した事も多くありました。今は本当に色んなものがあり、悩むことも増えました。少しずつ、興味を持っていこうと思いました。
- ・便利なグッズや本、カードなど、実物をたくさん見せていただけてとても良かったです。

（3）ASD（自閉スペクトラム症）講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化（環境調整）の例について講演を実施

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子（エルムおおさか センター所長）

定員：40名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
わかりやすい環境づくり 気になる行動の考え方	10/7	総合生涯学習センター	31	29	60

★アンケート結果（回収率95%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	41
わかりやすかった	15
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	57

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	38
参考になった	18
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	57

【感想・意見】

・具体例や失敗談も交えてお話していただき、とても理解が深まりました。ただ、自分が「ここまでしてあげないといけないのか」と思うと気が重く、憂鬱になります。構造化をしてみても、親の気合いが足りず、中途挫折してうやむやになってしまうことがよくあります。続ける気力を保つのが難しいです。心が擦り切れそうです。

・本人が困っていることの視点を幅広く見て考えることが必要であると思いました。苦手なことだけでなく好きなこと得意なことに視点を当てられたらと思います。

・構造化について詳しく学ぶことができました。一人一人の発達に合わせた構造化を考え日々の支援に取り組んでいきたいと思っています。

（４）ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期・学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科大学L Dセンター 言語聴覚士 特別支援教育士S V）

定員：各回50名

★実施済（4回・実施予定1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
読み書きの力を育てる ～高学年での課題と学習支援～	5/28	大阪市中央公会堂	11	30	41
聞く力・話す力の 理解と指導へのヒント	6/18	リファレンス大阪	37	37	74
基礎的な読み書きの 力を育てる	9/17	ドーンセンター	14	25	39
豊かなことばを 育むために	10/22	大阪産業創造館	6	34	40
算数でつまずく子どもの 理解と指導へのヒント	2/18	たかつガーデン	13	22	35
計			81	148	229

★アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	147
わかりやすかった	66
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	12
計	225

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	159
参考になった	58
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	8
計	225

【感想・意見】

・本の読み聞かせを自分の余裕なく、できていない日が続いていましたが、再開します！ぼちぼち頑張ります。

・西岡先生のお話、毎回わかりやすいと満足しています。年々自分の理解が深まっているはずなのに、毎回学びや気づきがあり、聞く・話すの困り感は発達の特性なので、ずっと続くなと感じています。とは言え、新たな困りがあるということは本人の成長があったからこそだとも思えるようになった自分にも学びがあるからこそ思うので、親がこのように講座を受ける機会は本当にありがたいです。

・とても悩んでいたことだったので参考になりました。全部をやっていくのは、子どもにも負担になるし、自分も長続きしないので、まずは気になったもの、できそうなものからやってみようと思います。子どもの世界を味わう体験もできてよかったです。

（５）ADHD講座

ADHDの主な症状は、不注意・多動性・衝動性と言われている。様々な要因の相互作用によって特徴のあらわれ方が異なる。特性があるのに周囲に理解されず「努力が足りない」「怠けている」など誤解を受けてしまい、必要なサポートを受けられず困難を抱えている場合も少なくない。本人や家族、支援者など周りの人たちがその特徴を理解し、対応方法を知ることによって状況の改善を図ることが可能である。本講座では、思春期から成人期のADHDを中心に、ADHDの基本的知識や支援方法、工夫などについて、学習する。

対象：保護者・支援者・当事者

講師：大久保 圭策先生（大久保クリニック院長、精神科医）

定員：100名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 保護者	支援者	計
成人期のADHDのある方の 特徴と支援	12/7	大阪私学会館	25	13	38

★アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	23
わかりやすかった	9
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	5
計	37

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	25
参考になった	8
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	37

【感想・意見】

- ・本当に柔軟な先生で楽しくとても分かりやすく聞けておもしろかった。自分自身の自尊心も上がるような講座でとても良かったです。もう少し雑談とかきいておきたかった。
- ・一歩踏み込んだ医療的見地や図を多用した視覚に訴える内容が素晴らしかったです。このような貴重な機会をいただけて嬉しかった。
- ・ADHDや過去に共感・理解してもらえて嬉しかったです。救われました。大久保先生のようなお医者様が増えてほしいです。

（６）ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（作業療法士）

定員：40名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
感覚と運動発達の視点から 身体と手先の動きを育てよう	6/27	リファレンス大阪	8	37	45

★アンケート結果（回収率95%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	27
わかりやすかった	14
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	43

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	29
参考になった	11
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	43

【感想・意見】

- ・こまかく子どもの成長の順序を理解することが出来ました。
- ・保育園の訪問相談をする中で、手指の操作の苦手さの話がよく出るのですが、それまでに、0歳児の時の動き、からだが育つ大切さがよく理解できました。知りたかったことをたくさん拝聴でき、有意義でした。
- ・スクリーニングポイントの項目が分かりやすかった。座位で足底接地できていないことにより骨盤後傾し、体幹筋が上手く機能しないということが知れたので、日常的に姿勢を観察していくことが大切だと思った。今後ポイントを見逃さないようにしていきたい。

（7）心理的疑似体験プログラム

子どもが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：50名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう	7/9	JEC日本研修センター 心斎橋	25	30	55

★アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	39
わかりやすかった	13
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	0
計	54

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	40
参考になった	14
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	54

【感想・意見】

- ・疑似体験をすることで、子どもたちの気持ちを想像することができ、大きな気付きになりました。
- ・題名を見た時、受けたいと思いました。子どもの気持ちを分かってあげることは、難しいと感じました。1つ目の体験で「ひらがなを読む」が薄くて、子どもは毎日学校でこんなに大変な事を頑張ってるんだと思うと涙が出ました。私に必要なのは、子どもが今どんな気持ちなのか分かってあげること、共感してあげることが必要だったんだとわかりました。来て良かったです。是非、毎年やって下さい。
- ・子ども達に対する対応で反省すべきことがあるような気がした。「わからない」ということの理解が少しできた気がする。

(8) ライフスキル講座

発達障がいのある人が身につけておくの良い、ライフスキルについて講演を実施

1. ライフスキル講座① (学生支援)

対象：高校生・大学生・保護者・支援者

講師：勝田 麻津子先生 (大阪市スクールカウンセラー 臨床心理士)

定員：50名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 保護者	支援者	計
学生支援 -進路選択の留意点と大学での 合理的配慮-	7/23	JEC日本研修センター 心斎橋	21	18	39

★アンケート結果 (回収率92%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	16
わかりやすかった	19
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	36

講演内容について (役立度)	人数
大変参考になった	16
参考になった	20
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	36

【感想・意見】

- ・大学にこんな支援体制があること自体知らなかったのので、とても役に立ちました。本人が困り事として受け入れた時には、支援につなげたいと思いました。
- ・中、高のうちにどのような支援が大切かを改めて考えることができた。先のことを考えつつ、今できることを支援として実行していきたい。
- ・事例も多くわかりやすかったです。高校生になり (また) 自信がなくなる面もでてきたので、日々引きあげていきたいと思いました。

2. ライフスキル講座② (生活)

対象：保護者・支援者

講師：中島 美鈴先生 (九州大学大学院 人間環境学府学術協力研究員 臨床心理士 公認心理師)

定員：50名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 保護者	支援者	計
『ADHDの意思決定障がいと 実行機能障がいへの支援』	10/30	CIVIL研修センター 新大阪東	30	32	62

★アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	35
わかりやすかった	20
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	5
計	61

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	38
参考になった	19
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	61

【感想・意見】

・あっという間に終わってしまい、びっくりしました。大変有用な時間でした。意思決定には責任が伴うことや、悪いことほどよく覚えているなど生きづらい世の中ですが、何とか頑張っていきたいと思います。

・先延ばしをしやすい神経心理学背景がなるほどと思いました。特に「時間処理障がい」については、子どもに言っても「分からん！」の一言で片づけられていたので、細かくto doに分解して一緒に決めてみようと思います。話も実生活に即していてわかりやすかったです。

・私もADHD傾向があり、少しのよっこいしょが難しい気持ちとてもわかりました。見てくれている人がいるだけで、できる、は目からウロコでした。すぐ目に見える小さな褒美、限定合理性等とても勉強になりました。

3. ライフスキル講座③（性教育）

対象：保護者・支援者

講師：道原 舞先生（わたしのための保健室 てとて代表）

定員：50名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 保護者	支援者	計
発達障がいのある思春期の子の保護者が知っておきたい「性」のはなし	2/12	大阪私学会館	34	28	62

★アンケート結果（回収率96%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	46
わかりやすかった	13
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	60

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	45
参考になった	15
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	60

【感想・意見】

- ・何をするにも同意！相手を大切にしているつもりでしたが、同意を押し付けていたかもなと思い直すきっかけとなりました。小さなことから始めてみようと思います。
- ・とても分かりやすく説明していただき、大変勉強になりました。大切な教育、なんとなく学べるようになるのは（正しい知識を）難しいのでしっかり我が子に伝えていきたいと思います。
- ・性の話を理論立てて話してくださったので、とても納得できました。今、娘には彼氏がいます。お付き合いの上での心配事や性のことを自分から話してくれるので、今まで段階をふんで娘に伝えてこれたのかなと思います。これから、もし、身体のこと、性のことで相談されたら「信頼して言ってくれてありがとう」と言おうと思います。

(9) デジタル支援講座

子どもたちがSNSやゲームをどのように利用しているのか。子どもたちに魅力的なSNSやゲームですが、健康面への影響など心配が尽きない。なぜ子どもたちがゲームやSNSの世界にはまってしまうのか、どこにひかれて、何を注意したら良いのかを知っておく必要があるのではないか。保護者の目線ではわかりづらい「なぜ？」の疑問を解説する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：関 正樹先生(大湫病院 児童精神科医)

定員：50名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
子どもたちとゲームやSNSの世界	1/27	CIVI研修センター 新大阪東	33	30	63

★アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	49
わかりやすかった	12
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	62

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	52
参考になった	10
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	62

【感想・意見】

・ASD、ADHDの特性に分けてのSNS等の関係性が分かりやすかったです。ネットの世界はものすごいスピードで状況が変わるので、ついていくのが大変です。なぜ親はネットの世界を否定し、知ろうとしないのかと考えた時、やっぱり知らなさすぎる未知の世界であるがゆえなのではないかと思います。思春期の子はアドバイスを求めてない…目からウロコでした。日々難しいなと思いますが、頑張ります。

・子どもがSNSやゲームをする気持ちや背景を多面的に考えるきっかけをいただきました。先生の雰囲気がお子さんにとっても相談しやすいだろうなと感じました。「相談しても意味ない」「わかってくれない」と相手に思わせたくないよう、一人ひとりに向き合っていきたいと思います。

・そろそろ子どもにゲームを与える頃かと考えていますが、親があまりゲームの知識がなく困っていたので、研修に参加しました。今までゲームやSNSに対しての否定的な見解を目にすることが多く、良くないものと思っていたが、今日の研修では肯定的な視点からお話が聞けて勉強になりました。

（10）当事者・保護者による講演会（体験談等）

発達障がいのある当事者や保護者による体験談などを交えた講演会を実施。

1. 当事者・保護者による講演会

対象：当事者・保護者・支援者

講師：和多田 麻衣子先生（発達障がい児・者親の会スイミー代表）・当事者（3名）

定員：80名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 保護者	支援者	計
A S D ・知的障がいのある20代の挑戦	2/1	大阪私学会館	31	24	55

★アンケート結果（回収率89%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	27
わかりやすかった	13
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	9
計	49

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	30
参考になった	13
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	6
計	49

【感想・意見】

・当事者の方のお話を直接聞くことが出来て、また色々な質問に答えて頂きとても感謝しています。みなさんの今までの人生を短い時間ではありますが、聞かせて頂き、深く感銘を受けましたし、自分の娘もこのように成長してくれるのかな？大丈夫かな？という心配もありますが、親の私に出来る事を改めて考えさせられるとても良い機会になったのかなと思います。娘が元気に笑顔でいてくれることが1番ですね。

・当事者の方のリアルなお声を聞かせてもらえて、大きな学びになりました。息子との関わりや仕事での子どもたち、保護者の方々との関わりに活かしていきたいと思います。大きな勇気をもって話してくださりありがとうございました。

・当事者の話、聞けることはとても貴重で良かったです。また、「就労がゴールではない」悩みながらも成長してきたんだなあ～これからはまだまだ伸びしろがある3人を見て元気をもらえました。3人の話を聞いて、我が子にも自信をつけてあげたいです。

（11）家族支援講座

家族としてできること、支援者と共に取り組むことについて講演を実施

対象：保護者・支援者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授
長野県発達障がい情報・支援センター センター長）

定員：100名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
発達障がいのある子と家族の関わり方	9/14	K I T E N A新大阪	62	27	89

★アンケート結果（回収率95%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	70
わかりやすかった	8
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	5
計	85

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	74
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	85

【感想・意見】

・親のこうなってほしい、という思いが強いと逆に上手くいかないということは、実感することがよくあります。親が本気であきらめた時に限って、本人がやる気を出し、結果できるようになるのはどうしてだろうと思っていたので、本日のお話でとても納得できました。

・2時間と長い時間ではありましたが、おもしろく、大変勉強になりました。6歳、ASD、軽度知的の子がいます。宿題は百害あって一理なし、とても心に響きました（笑）やりたい、できると思えた時に子どものペースで支援してあげないと感じました。

・「親はすっこんでろ」を頭のすみにおいて子育て頑張っていこうと思います。

【2】ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、日々の取り組み方法の講演を実施

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施済

区分	内容	日程	会場	参加者数		
				保護者	支援者	計
幼児期 低学年	幼児期・低学年で身に付けたいソーシャルスキルについて（基礎）	11/12	ツイン21 MIDタワー	18	40	58
思春期	ソーシャルスキルとしての自己理解をどう育てるか	11/26	リファレンス大阪	17	20	37
学齢期 (低学年)	小学校（低学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	12/17 1/21	大阪産業創造館	19	12	31
幼児期	幼児期で身に付けたいソーシャルスキルについて	12/10 1/14	大阪産業創造館	14	16	30
計				68	88	156

★アンケート結果（回収率96%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	110
わかりやすかった	38
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	3
計	151

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	114
参考になった	35
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	151

【感想・意見】

- ・子どもへの接し方、観察が大事だと学びました。引き続き学んで、まず、自分の関わり方を変えていく、自分もソーシャルスキルを高めることが必要。
- ・中学生の子が突然不登校となり、関わりに悩んで参加しましたが、まずは、自分自身も自己理解を深めて客観的にこどもとの関わりがどうだったか、振り返る所から、はじめようと思いました。
- ・大人が変わる必要性について理解できました。何回言っても伝わらない、やらないと思っていたけれど、私自身のアプローチの方法を変えてみます。その子のことを観察して、必要な指導方法についても考えていきたい。

【3】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

（1）ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
6/23	大阪府社会福祉会館	31	33	64
8/26	WEB（オンデマンド）	25	25	50
計		56	58	114

★アンケート結果（回収率73%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	57
わかりやすかった	22
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	4
計	84

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	52
参考になった	26
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	84

【感想・意見】

- ・問題行動に不適切に対応してしまうことで、二次障がい等、悪循環に陥ってしまうとわかりました。学校現場でつい怒ってしまう。その時の感情で対応するときがあるので、気をつけていきたいです。
- ・問題行動にとらわれるのではなく、適切にできている行動をほめる事で、適切な行動を増やし、問題行動を減らしていくよう、実践していきたいと思います。
- ・気持ちが楽になりました。ダメな対応ばかりして落ちこんでいたので、常に手に取れる所に置いて毎日みようと思いました。ペアレント・トレーニング受けたい。

(2) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：今村 佐智子先生、石本 真佐子先生、地域サポートコーチ

定員：各回8名

★実施済（幼児：6回×4クール、学齢：10回×4クール、思春期：9回×1クール 計73回）

対象	期間	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
幼児	5/22～7/31	クレオおおさか中央	8	0	8
	9/19～11/28	鶴見区民センター	7	0	7
	1/13～3/24	ドーンセンター	7	0	7
	9/22～12/15	更生療育センター（共催）	8	0	8
学齢	5/15～10/23	西成区民センター	4	0	4
	5/13～10/28	JEC日本橋研修センター心斎橋	8	0	8
	10/10～2/20	ドーンセンター	9	0	9
	10/15～3/4	港区民センター	6	0	6
思春期	10/21～2/24	たかつガーデン	6	0	6

(3) ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：100名

★実施済

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
3/3	港区民センター	29	23	52

★アンケート結果（回収率88%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	34
わかりやすかった	11
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	46

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	32
参考になった	13
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	46

【感想・意見】

・学齢期の内容や悩みもきけたのでよかったです。親の葛藤の気持ちにも共感しました。この時間を復習のタイミングにしようと思っていたので基調講演もためになりました。

・発表者の方の話がわかりやすくて良かった。経験された方の話は説得力があって様子がとてもイメージできました。

・ペアトレのおかげで、私自身の穏やかな時間が増えたんだと気づけました。イライラしていたのは、私の価値観の押しつけや、私がしなくちゃいけないとの思いこみ、時間調整、私の見方で接していたからでした。今回の報告会のおかげで、受講していた時の記憶がよみがえりました。仲間と共に半年間学べたこと、本当にありがたい時間でした。

（４）ペアレント・トレーニング フォローアップの定期会

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催

2024年度から年に6回（春3回・秋3回）でフォローアップの定期会を開催する。

★実施済（6回）

対象	日程	参加者数
幼児・学齢	6/4	6
	6/6	8
	6/17	15
	10/29	6
	11/13	8
	11/19	12
計		55

【４】子育て応援講座（クレオ大阪子育て館との共催）

発達ゆっくりさんの子育て応援講座

子どもの行動について学び、ワークを通して対応の工夫や保護者自身が肯定的なとらえ方を身につけることで、子どもとの良い関係づくりを目的に開催

対象：テーマに関心のある2～5歳の保護者

講師：望月 直人先生（大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター相談支援部門 准教授）

定員：15名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数
子どもの行動を見てみよう	6/9	クレオ大阪子育て館	8
育てにくいも楽しむ子育て	6/16		10
子どもの行動を見てみよう	1/24	クレオ大阪子育て館	13
育てにくいも楽しむ子育て	1/31		12

※アンケートは2回目のみ実施

★発達ゆっくりさんの子育て応援講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	15
わかりやすかった	6
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	22

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	15
参考になった	6
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	22

【感想・意見】

- ・これを入口にペアレント・トレーニングを専門的に受講してみたいと感じました。
- ・困ったことを具体的に細分化して捉えて、対処法を考えようと思いました。自分の子どもへのハードルを下げようと思いました。じっくり子どもと自分に向き合う良い機会になりました。
- ・私も子どもも、沢山頑張っていることに気づけたのがよかったです。子どものことをもう少し多くほめてあげようと思います。

支 援 者 講 座

【1】 集合研修

(1) 啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済 (9回)

対象	機関名称	会場	日程	参加者数
市職員（区役所関係）	大阪市こころの健康センター	都島区	6/23	44
	子ども青少年局企画部企画課	大正区	1/23	50
	大阪市福祉局職員研修①	北区	2/18	58
	大阪市福祉局職員研修②	北区	2/18	36
当事者・保護者・団体等	職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科	平野区	5/8	5
	J M J C 養成講座①	中央区	7/8	51
	天王寺区相談支援部会	天王寺区	7/16	20
	大阪市大淀歯科医師会	北区	8/30	16
	東淀川区自立支援協議会 こども部会	東淀川区	10/10	18
	更生療育センター にこにこ倶楽部	平野区	10/20	21
	J M J C 養成講座②	中央区	11/11	56
	鶴見区障がい者・高齢者虐待防止連絡会	鶴見区	12/10	27
	阿倍野区自立支援協議会	阿倍野区	2/17	40
	大正区自立支援協議会	大正区	2/27	18
	社会福祉研修・情報センター (オンデマンド配信 3/10～3/16)	西成区	3/10	497
	淀川区保護司会	淀川区	3/11	40
計				997

(2) 支援者講座

1. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：安田 文彦先生（社会福祉法人一羊会 カノン 部長）

定員：40名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 （実践編）	12/4	J E C 日本研修センター 心斎橋	39

★アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	18
わかりやすかった	19
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	1
計	39

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	17
参考になった	21
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	39

【感想・意見】

・普段会うことがない他事業所の方々と支援の考え方や手立ての方法を色んな視点から見る、聞くことができ勉強になりました。また色んな意見を聞くことで環境、考えや手立てが凝り固まってしまうのも思ったので次回もこのような機会があったら参加して色んな意見を取り入れていきたいと思いました。

・色んなパターン、状況があるのですぐに考えが思いつかずでしたが、色んな事業所の方のやり方、接し方を聞くだけでも勉強になりました。

・実際の例が、画像とともに知れてすごく良かった。

2. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施

対象：成人支援事業所の支援者

講師：真船 亮先生（bonワークス枚方 管理者）

定員：40名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 （実践編）	8/6	大阪御堂筋ビル	42

★アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	32
わかりやすかった	10
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	42

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	33
参考になった	9
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	42

【感想・意見】

・様々な点から支援の難しさを改めて実感しつつ、ただ、やはり、本人の意識や希望とはうらはらに支援者のやりたい支援を押しつけてしまう場面は、よく行ってしまうな・・・そうだな・・・と思い返しました。大変よい機会となりました。

・とてもわかりやすく、グループワークも現場の話がいろいろ聞けて良かった。

・良い支援を提供していく為にはチーム・アプローチの視点が重要という認識はありましたが、管理者という立場で、どこまでチーム力を向上させられているのかは、常々、不安に感じていました。スタッフの個の能力を高めていくことも肝要ですが、スタッフ同士が、お互い高め合って相乗できる為には、それぞれの得意を生かすマネジメントが不可欠だと学びました。又、自閉症について学び直しができ、グループワークでは色々な意見が出て、思考の幅が広がったように感じます。

（3）区役所支援者向け講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんへの具体的なかわり方、家庭の中でできる工夫などについて研修を実施

対象：区役所の保健師・心理相談員・家庭児童相談員

講師：大阪市更生療育センター職員

定員：30名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数
大阪市更生療育センターで学ぶ 「発達障がいのある お子さんのための専門療育」	8/4	・大阪市職業リハビリ テーションセンター ・更生療育センター	28

★アンケート結果（回収率100％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	26
わかりやすかった	2
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	28

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	27
参考になった	1
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	28

【感想・意見】

・写真だけでは保護者の方に説明しにくいところを、見学、講義で知識がついたかと思います。実践に繋ぐことのできる内容でした。

・初めて更生療育センターをみて、児の個性に配慮されているということが良く分かり勉強になりました。

・研修を通じて実際に使用している物品を見たり、触れることができて貴重な経験になりました。子どものみだけでなく、親も一緒に参加し、自宅で簡単に行えることを学ぶ機会にもつながると学びました。一時的ではなく、長期的な目線で関わるのが大切だと改めて感じました。

【2】ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達の特徴のあるお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済（6回×2クール 計12回）

期間	会場	参加者数
6/26～11/27	たかつガーデン	11
7/9～12/10	たかつガーデン	7

【3】機関コンサルテーション

（1）出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施

★実施済

対象	内容	日程	参加者数
保育所・園	発達障がい基礎講座	7/10	15
障がい児支援機関	発達障がい基礎講座	7/17	14
	発達障がい基礎講座	10/16	15
	発達障がい基礎講座	3/17	5
	発達障がい基礎講座	8/9	22
成人期支援機関	TTAP（検査）について	1/5	8
	発達障がいがある方の理解と支援	2/17	8
	TTAP事例検討	3/17	10
計			97

（２）訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済（延べ112回・49か所）

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	55	19
障がい児通所・入所施設	22	10
教育関係機関	0	0
成人期支援機関	20	6
障がい児・者相談支援機関	0	0
居宅介護事業所	0	0
社会福祉協議会	0	0
区役所（保健福祉含む）	0	0
労働関係機関	0	0
その他	15	14
計	112	49

【４】発達障がい児者支援講座

（１）発達障がい児者支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の発達障がい児者支援事業所（6事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆発達障がい児者支援者スキルアップ事業の流れ

①基礎講座

基礎講座として、発達障がい児者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

＜実施事業所の募集と選定＞

②ガイダンス

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

（２）発達障がい児者支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：発達障がい児者支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット シニアアドバイザー）

定員：100名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
自閉症の学習スタイルの整理	5/30	CIVI北梅田 研修センター	4	137	141

★アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	86
わかりやすかった	46
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	5
計	137

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	92
参考になった	42
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	3
計	137

【感想・意見】

・今回とても興味のある内容でした。もう少し時間をかけてゆっくり聞きたかったです。2時間だけではもったいない内容だったと思いました。

・学習スタイルの表とお話はとても参考になりました。今の自分の支援を見直します。最後のドアのお話もとても参考になりました。また、事例見たいです！

・動画を通した事例で分かりやすかったです。アセスメントの重要性を再認識しました。

②ガイダンス

★実施済

内容	日程	会場	参加者数
コンサルテーションの意義等	7/2	リハビリテーションセンター 第1会議室	9

③まとめ報告会

★実施済

内容	日程	会場	参加者数
取組内容の整理 支援の方向性など	1/8	リハビリテーションセンター 第1会議室	10

【スキルアップの実施状況】

事業所	施設種別	対象者の概要・課題点
①	放デイ 2 か所合同	17歳男性 支援学校高等部3年生 A S D 療育手帳A 強度行動障がい 気になる行動への対応・活動内容・行事への参加の手立て コミュニケーション支援の具体的助言・施設の環境調整
②	放デイ	14歳男性 支援学校中学部3年生 自閉症 療育手帳A 気になる行動への対応・活動内容 コミュニケーション支援の具体的助言・施設の環境調整
③	生活介護	52歳男性 自閉症 療育手帳A 強度行動障がい 気になる行動への対応・活動内容
④	障がい者支援施設	54歳女性 自閉傾向 療育手帳A 気になる行動への対応 コミュニケーション支援の具体的助言・施設の環境調整
⑤	居宅介護	37歳女性 自閉症 療育手帳A 気になる行動への対応・活動内容 コミュニケーション支援の具体的助言・施設の環境調整
⑥	自立訓練	26歳男性 A S D 精神障がい者保健福祉手帳3級 活動内容・コミュニケーション支援の具体的助言

④公開講座（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、氷山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施。

実践報告会は、7事業所（放デイ2か所は合同実施）より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう。

対象：発達障がい児者支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット シニアアドバイザー）

定員：100名

★実施済

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
実践報告会 -青年期、成人期の実践を学ぶ-	3/15	大阪私学会館	8	91	99

★アンケート結果（回収率64%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	31
わかりやすかった	29
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	4
計	64

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	33
参考になった	28
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	3
計	64

【感想・意見】

・環境を整えることと問題行動を減らしていく事でこんなに変わるんだと改めて思いました。ただやはり一人で考えるだけでは、本当に分からないことだらけなのが現状です。コンサルタントさんの存在は本当にありがたいです。もっとたくさんの事例と対応をたくさん見たいです。

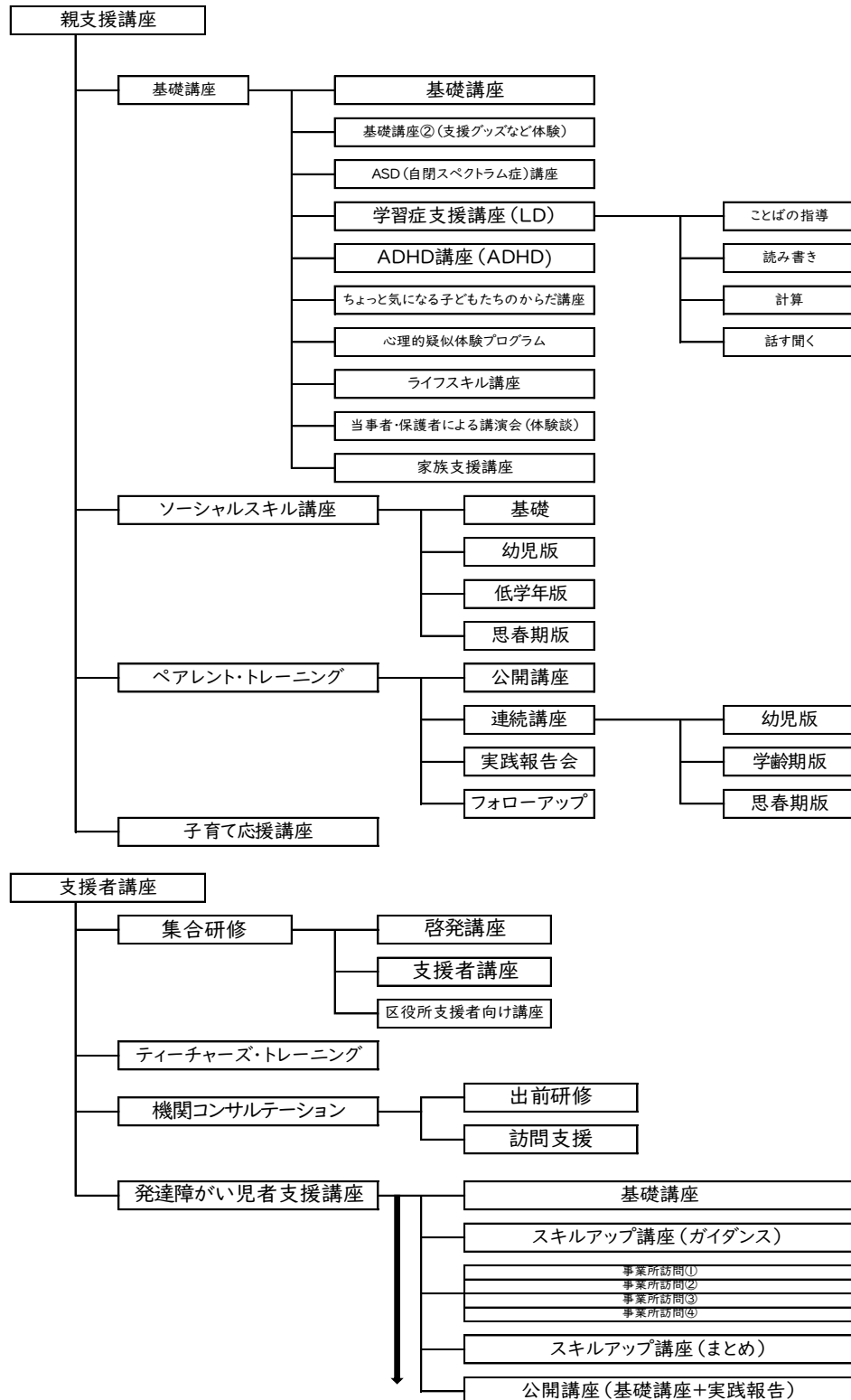
・様々な利用者さんの置かれている状況があり、色々なアプローチで取り組まれている様子が見られ、とても参考になりました。また、色々なアプローチ方法もコンサルの方が入ることで自閉症の特性にあったアプローチに修正されていたので、支援員側も安心して出来ていたのではないかと思います。

・生活支援員の仕事を始めて約6か月になります。未経験なこともあり、先輩方のアドバイスをもらいながら支援をしていますが、今回様々な実践やお話を聞き、まだまだ利用者のことをしっかり見れていないと感じました。今回はとても学びの時間となりました。明日からの実践に取り入れ、頑張りたいと思います。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和8年4月～令和8年6月）

事業概要

2026年度 エルムおおさか サポートコーチ事業体系図



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】基礎講座

(1) 基礎講座

発達障がい児・者の特性や、基礎的な知識と支援について講演を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：小田桐 早苗先生（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科社会連携センター講師）

定員：各回100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	6/16～6/30	WEB	33	108	141

★アンケート結果（回収率80%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	83
わかりやすかった	28
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	0
計	113

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	88
参考になった	22
あまり参考にならなかった	3
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	113

【感想・意見】

・知識がある人と無い人では対応が異なると思います。特性について例も合わせて説明があり、わかりやすかった。更に勉強していきたいです。

・今まで書籍や動画で情報を取得してきましたが、その中でも自分の心に印象に残る（厳しいところを突かれる）内容が多かったです。子どもの気持ちを代弁する表現が多く、子どもの思いを気づかされ勉強になった。

・とても励みになりました。毎日の支援の中で「自分の提供している環境は利用者にとって分かりやすいのだろうか」と考え続けることが、今後も支援していく中で大切な点だと思った。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	11/5～11/20	WEB

(2) 基礎公開講座②（支援グッズなど体験）

発達障がいの特性に合わせた基本的な対応方法を考えたり、支援グッズなどを見たり触ったりする事で、お子さんとの関わりを一緒に考える。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：30名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	調整中	調整中

(3) ASD（自閉スペクトラム症）講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化（環境調整）の例について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子（エルムおおさか センター所長）

定員：40名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
わかりやすい環境づくり 気になる行動の考え方	11/6	ドーンセンター

(4) ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期・学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（元 大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回50名

★実施済（2回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
読み書きの力を育てる ～高学年での課題と学習支援～	5/27	社会福祉会館	18	25	43
聞く力・話す力の 理解と指導へのヒント	6/17	武藤記念ホール	26	35	61
計			44	60	104

★アンケート結果（回収率96%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	69
わかりやすかった	30
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	0
計	100

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	73
参考になった	26
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	100

【感想・意見】

- ・「もっと丁寧に書こう」とつい言ってしまいそうになるが、その言葉が本当に子どもの為になっているのか、大人のエゴなのではないか、見直すきっかけになりました。
- ・家庭や学校、デイで使えるような支援方法を具体的に教えて下さり、大変参考になりました。また、読み聞かせの重要性も改めて感じました。
- ・子どもの状況を観察するための視点や声のかけ方など、対応方法について考える良いきっかけとなった。家族で共有したいと思います。

★実施予定（3回）

内容	日程	会場
豊かなことばを育むために	9/16	ドーンセンター
基礎的な読み書きの力を育てる	10/7	リファレンス大阪
算数でつまづく子どもの理解と指導へのヒント	2/17	調整中

（5）ADHD講座

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉スペクトラム症や学習障がいをあわせ持つ場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義を受け、学習する。

対象：保護者・支援者・当事者

講師：大久保 圭策先生（大久保クリニック院長 精神科医）

定員：100名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
ADHDスポット講座	11/29	大阪私学会館

（6）ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（作業療法士）

定員：各回40名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
感覚と運動発達の視点から身体と手先の動きを育てよう	7/15	大阪産業創造館

(7) 心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（元 大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう	7/8	大阪私学会館

(8) ライフスキル講座

発達障がいのある人が身につけておくと良い、ライフスキルについて講演を実施する。

1. ライフスキル講座①（余暇活動）

対象：当事者・保護者・支援者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授
長野県発達障がい情報・支援センター センター長）

定員：100名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
発達障がいのある人の余暇活動	9/19	AP大阪駅前

2. ライフスキル講座②（自己理解）

対象：高校生以上の当事者・中学生以上の保護者・支援者

講師：吉田 友子先生（千代田クリニック院長 iPEC所長）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
対人コミュニケーションやうっかりで悩む人たちの『自己理解』と『相談スキル』	12/17	WEB

3. ライフスキル講座③（時間管理）

対象：成人期の当事者・中学生以上の保護者・支援者

講師：中島 美鈴先生（九州大学大学院 人間環境学府学術協力研究員 臨床心理士 公認心理師）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
ギリギリ先延ばしになってしまう人のための時間管理術	11/14	JEC日本研修センター 心斎橋

4. ライフスキル講座④（仮：金銭管理）

対象：当事者・保護者・支援者

講師：調整中

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
金銭管理について（仮）	調整中	調整中

5. ライフスキル講座⑤（性教育）

対象：保護者・支援者

講師：門下 祐子先生（京都教育大学 教育創生リージョナルセンター機構総合教育臨床センター 講師）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
性教育について（仮）	2/24	CIVI北梅田研修センター

（9）当事者・保護者による講演会（体験談等）

発達障がいのある当事者や保護者による体験談などを交えた講演会を実施する。

1. 当事者・保護者による講演会

対象：当事者・保護者・支援者

講師：調整中

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
当事者・保護者による体験談（予定）	調整中	調整中

（10）家族支援講座

家族としてできること、支援者と共に取り組むことについて講演を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：滝島 真優先生（きょうだい会 SHAMS代表 明星大学人文学部福祉実践学科 准教授）

定員：100名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
きょうだい児に対する支援 ～私たちにできる予防的なサポート～	9/7	CIVI研修センター 新大阪東

【2】ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、日々の取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（元 大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施予定（幼児期、学齢期 基礎1回 ・ 各2回×1クールずつ）（思春期 1回）

区分	内容	日程	会場
幼児期 低学年	幼児期・低学年で身に付けたい ソーシャルスキルについて（基礎）	10/21	CIVI北梅田研修センター
幼児期	幼児期で身に付けたい ソーシャルスキルについて	11/18・11/25	たかつガーデン
学齢期 (低学年)	小学校（低学年）で身に付けたい ソーシャルスキルについて	12/9・12/16	大阪私学会館
思春期	ソーシャルスキルとしての 自己理解をどう育てるか	1/20	調整中

【3】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

（1）ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済（1回）

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
6/19	大阪産業創造館	20	17	37

★アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	29
わかりやすかった	7
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	36

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	28
参考になった	8
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	36

【感想・意見】

- ・子ども達のいいところを見ていこうと思った。問題行動は困っている事だとわかり、怒るのではなく、よりそえる支援ができたと思った。
- ・立場が支援者ですので、更に勉強してファシリテーターも目指したいと思います。
- ・ぜひ、10月から開始される低学年の保護者向けのペアレント・トレーニングを受けたいと思いました！もう少したくさん開催されると嬉しいです！

★実施予定（1回）

日程	会場
8/17～9/4	WEB（オンデマンド）

(2) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：今村 佐智子先生、石本 真佐子先生、地域サポートコーチ

定員：各回8名

★実施中・実施予定（幼児：6回×4クール、

学齢：低学年6回×2クール、高学年10回×2クール、思春期：9回×1クール 計65回）

対象	期間	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
幼児	5/15～7/24	西区民センター	7	0	7
	9/3～11/12	天王寺区民センター	実施予定		-
	調整中	調整中	実施予定		-
	9/11～11/27	都島区役所（自立支援協議会共催）	実施予定		-
学齢	5/28～9/10	ドーンセンター	8	0	8
	5/26～10/27	たかつガーデン	7	0	7
	10/30～1/29	調整中	実施予定		-
	10/14～3/10	大阪市中央公会堂	実施予定		-
思春期	10/22～3/4	大阪産業創造館	実施予定		-

(3) ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：100名

★実施予定（1回）

日程	会場
3/5	調整中

(4) ペアレント・トレーニング フォローアップの定期会

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。

2024年度から年に6回（春3回・秋3回）でフォローアップの定期会を開催する。

★実施済（3回）

対象	日程	参加者数
幼児・学齢	6/4	4
	6/23	15
	6/30	6
計		25

★実施予定（3回）

対象	日程
幼児・学齢	調整中
	調整中
	調整中

【4】子育て応援講座（クレオ大阪子育て館との共催）

発達ゆっくりさんの子育て応援講座

子どもの行動について学び、ワークを通して対応の工夫や保護者自身が肯定的なとらえ方を身につけることで、子どもとの良い関係づくりを目的で開催する。

対象：テーマに関心のある2～5歳の保護者

講師：望月 直人先生（大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター相談支援部門 准教授）

定員：15名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
子どもの行動を見てみよう	6/1	クレオ大阪子育て館	7
育てにくいも楽しむ子育て	6/8		4
計			11

★発達ゆっくりさんの子育て応援講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	9
わかりやすかった	2
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	11

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	9
参考になった	2
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	11

【感想・意見】

・今まで当たり前に考えていた事を、良い所と考えられるようになるのは難しいですが、とても大切な視点だと思いました。

・子どもをほめる事の大切さを忘れていた気がします。もう少しほめる事で親子関係が変わるのではと思いました。

・講座中に何度も涙が出そうなくらい、励みになりました。自分をほめる事で子育てにも余裕ができ、それが良い循環になる。この事を日々忘れずに頑張っていきたい。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
子どもの行動を見てみよう	1/16	クレオ大阪子育て館
育てにくいも楽しむ子育て	1/23	

支 援 者 講 座

【1】 集合研修

(1) 啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済 (6回)

対象	内容	会場	日程	参加者数
市職員 (区役所関係)	福祉局職員新任研修	平野区	5/22	20
	大阪市こころの健康センター	都島区	6/22	45
当事者・保護者・団体等	職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科	平野区	4/16	5
	都島区自立支援協議会 こども部会	都島区	5/8	29
	大阪弁護士 子どもの権利委員会	北区	6/18	30
	東淀川地区 保護司会	東淀川区	6/22	23
計				152

(2) 支援者講座

1. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座 (実践編)

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：安田 文彦先生 (社会福祉法人一羊会 カノン 部長)

定員：40名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
発達障がいの理解と支援 (実践編)	12/1	J E C 日本研修センター 心斎橋

2. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座 (実践編)

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：真船 亮先生 (bonワークス枚方 管理者)

定員：40名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
発達障がいの理解と支援 (実践編)	7/28	大阪私学会館

(3) 区役所支援者向け講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんへの具体的なかかわり方、家庭の中でできる工夫などについて研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・家庭児童相談員

講師：宮崎 義博先生 (三郷町こども未来創造部 作業療法士)

定員：50名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
発達のお子さんへの関わり 方や家庭でできる工夫	8/24	大阪産業創造館

【2】ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達特性のあるお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済・実施中（6回×2クール 計12回）

期間	会場	参加者数
6/24～11/25	たかつガーデン	8
7/2～12/3	たかつガーデン	8

【3】機関コンサルテーション

（1）出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施予定（1回）

対象	内容	日程
成人期支援機関	発達障がい基礎講座	8/21

（2）訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済（延べ22回・22か所）

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	14	14
障がい児通所・入所施設	1	1
教育関係機関		
成人期支援機関	1	1
障がい児・者相談支援機関		
居宅介護事業所		
社会福祉協議会		
区役所（保健福祉含む）		
労働関係機関		
その他	6	6
計	22	22

【4】発達障がい児者支援講座

(1) 発達障がい児者支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の発達障がい児者支援事業所（6事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆発達障がい児者支援者スキルアップ事業の流れ

①基礎講座

基礎講座として、発達障がい児者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

＜実施事業所の募集と選定＞

②ガイダンス

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 発達障がい児者支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：発達障がい児者支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット）

定員：100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
自閉症の学習スタイルに応じた支援の組み立て方	5/26	エル・おおさか	1	97	98

★アンケート結果（回収率94%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	64
わかりやすかった	28
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	93

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	63
参考になった	28
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	93

【感想・意見】

・就労支援移行で働いています。また子どもは知的障がい（A）の高校生の娘がいます。仕事では、自己理解についてのカリキュラムを最近行っており、利用者さんのアセスメントの大切さをさらに実感しました。今回の講座で教わったことを参考にして支援していきたいと思います。動画の事例がわかりやすかったです。

・問題が起こる→注意するの繰り返しだと、やはり、問題行動は続く、というのを理論的に説明していただき、改めて支援方法の見直しが必要だと感じました。

・支援していく上でどうしても無意識に「自分軸」で指導していた部分があるのではないかと気付きました。考え方や見え方が違うことを「正しく」理解し、何を求めているのか考えることが必要だと感じました。事例をたくさん見せていただけたので支援者も具体的にアプローチの仕方を変えて行くことの重要性が理解できました。

②ガイダンス

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
コンサルテーションの意義等	7/9	リハビリテーションセンター 第1会議室

③まとめ報告会

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
取組内容の整理 支援の方向性など	1/12	リハビリテーションセンター 第1会議室

【スキルアップの実施状況】

事業所	施設種別	対象者の概要・課題点
①	共同生活援助	49歳男性 自閉スペクトラム症 療育手帳A 強度行動障がい 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言
②	就労継続支援A型	32歳男性 A S D 精神障がい者保健福祉手帳2級 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言
③	障害者支援施設	33歳男性 自閉症 療育手帳A 強度行動障がい 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言
④	生活介護	28歳女性 自閉症 療育手帳A 強度行動障がい 気になる行動への対応・活動内容
⑤	障害者支援施設	60歳男性 自閉症 療育手帳A 強度行動障がい 気になる行動への対応
⑥	生活介護	23歳男性 自閉症の傾向あり 療育手帳A 強度行動障がい 気になる行動への対応

④公開講座（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、6事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：発達障がい児者支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット）

定員：100名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
調整中	3/13	大阪私学会館